

4 花・植木

① しろくじゃく

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
しろくじゃく	ハウス 促成栽培			◇									◆	◎	25,700
						x-x									
	季咲き 露地			◆ ○			◇		◇					x-x	37,500
							△		△						

凡例: ○さし木 △摘心 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位: kg/10a

作型	栽植本数		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
ハウス 促成	本/10a 8,900	基肥	15	12	11	・草姿に影響が少ない緩効性肥料を用いる。
		追肥	5	5	5	
		合計	20	17	16	
季咲き 露地	6,250	基肥	8	8	8	・追肥は、2~3回に分けて施用する。
		追肥	2	2	2	
		合計	10	10	10	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 完熟堆肥2~3トン/10aを施用する。
家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植半月前までに施用する。
イ 作型に応じて肥料の種類を決定するとともに、定植前の土壌診断により施肥量を決定する。
ウ 吸肥力が強いので、多肥栽培するとシュートが長大になる。
また、側枝が伸びすぎたり主幹が木質化して品質低下するので施肥量に注意する。

② きく

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
きく	夏小ぎく 季咲き		◇		◇			△	△	◆					80,000
	季咲き 露地					◆	○	△							35,000~ 45,000
	露地	○			◇									◆	35,000~ 45,000
	11月咲 小ぎく露地					◆	○	△		◇					90,000

凡例：○さし木 △刈り込み・摘心 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位：kg/10a

作型	栽植本数		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
夏小ぎく 季咲き	本/10a 15,000	基肥	16	20	16	・追肥は、2月、4月の2回に分けて施用する。
		追肥	4	0	4	
		合計	20	20	20	
季咲き 露地	15,000	基肥	14	20	14	・追肥は、1~2回に分けて施用する。
		追肥	6	0	6	
		合計	20	20	20	
露地	15,000	基肥	14	20	14	・追肥は生育により1~3回に分けて施用する。
		追肥	6	0	6	
		合計	20	20	20	
11月咲 小ぎく	15,000	基肥	14	15	10	・追肥は、1~3回に分けて施用する。
		追肥	7	0	5	
		合計	21	15	15	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 完熟堆肥2~3トン/10aを施用する。
 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植半月前までに施用する。
 イ 作型に応じて肥料の種類を決定するとともに、定植前の土壌診断により施肥量を決定する。
 ウ 緩効性肥料を中心に施肥をする。追肥は速効性のものを使用する。

3 その他

- ア 窒素過多、高温、水分不足により病害が発生しやすいので注意する。

③ てっぼうゆり

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
てっぼうゆり	促成栽培									◎	◆	◇	×-×	37,500

凡例: ○さし木 △摘心 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位: kg/10a

作型	栽植本数		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
促成栽培	球/10a 37,500	基肥	6	12	12	・追肥は速効性の化成肥料や液肥を用いる。
		追肥	3	0	0	
		合計	9	12	12	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害や出芽不良の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用時期については、計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植半月前までに施用する。
- イ 基肥は極わずかであるため、作条に施用する。
- ウ 追肥は生育期間が短いため速効性の肥料か液肥を用いる。

④ すかしゆり

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
すかしゆり	半促成栽培			◆ ◎			×	×							50,000

凡例: ○さし木 △摘心 ◎定植(仮植) ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位: kg/10a

作型	栽植本数		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
半促成栽培	球/10a	基肥	10	10	10	・追肥は生育不良の場合のみ、2~3回に分けて施用する。
	50,000	追肥	0	0	0	
		合計	10	10	10	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害や出芽不良の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植半月前までに施用する。
- イ 品種やほ場の地力に応じた施肥を行うため、土壌診断により施用量を決定する。
- ウ 追肥は生育期間が短いため生育に応じて速効性肥料か液肥を用いる。

⑤ すかしゆり (OH・LO)

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		11	12	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10		
すかしゆり OH・LO	半促成栽培			◆ ◎	—	—	×	×							50,000

凡例: ○さし木 △摘心 ◎定植(仮植) ×—×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位: kg/10a

作型	栽植本数		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
半促成栽培	球/10a 50,000	基肥	9.6	9.6	9.6	・追肥は生育不良の場合のみ、2~3回に分けて施用する。
		追肥	0	0	6	
		合計	9.6	9.6	15.6	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。

イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害や出芽不良の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。

ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植半月前までに施用する。

イ 品種やほ場の地力に応じた施肥を行うため、土壌診断により施用量を決定する。

ウ 追肥は生育期間が短いため生育に応じて速効性肥料か液肥を用いる。

⑥ チューリップ

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
チューリップ	促成栽培										◆	◎	—	x-x	90,000

凡例: ○さし木 △摘心 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位: kg/10a

作型	栽植本数		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
促成栽培	球/10a 90,000	基肥	15	10	10	・球根や生育状況に不良な場合のみ追肥する。
		追肥	0	0	0	
		合計	15	10	10	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。

イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害や出芽不良の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。

ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植半月前までに施用する。

イ 特に球根の質が悪く、生育が著しく貧弱な場合は速効性の肥料か液肥を用いる。

ウ 石灰が欠乏すると根に障害を受け、開花前後に花茎が折れ曲がるので石灰を施用し、pHを6.5～7.0に保つよう注意する。

⑦ ストック

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
ストック	ハウス栽培								◆	◇	◇				×-×	37,500

凡例:○さし木 △摘心 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

作型		栽植本数	単位:kg/10a			施肥の留意点
		本/10a	N	P2O5	K2O	
ハウス栽培			基肥	18	18	・追肥は速効性の化成肥料や液肥を用いる。
		45,000	追肥	4	4	
			合計	22	22	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植2~3ヶ月前に施用する。
- イ 品種やほ場の地力に応じた施肥を行うため、土壌診断により施用量を決定する。
- ウ 追肥は速効性の肥料か液肥を用いる。

⑧ キンギョソウ

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
キンギョソウ	ハウス栽培		◇	◇	◇		×	◆	◎	◎	◇	◇	◇	×	80,000

凡例: ○さし木 △摘心 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位: kg/10a

作型	栽植本数		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
ハウス栽培	本/10a 30,000	基肥	20	20	20	・追肥は液肥を用いる。
		追肥	6	6	6	
		合計	26	26	26	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植1ヶ月前までに施用する。
- イ 品種やほ場の地力に応じた施肥を行うため、土壌診断により施用量を決定する。
- ウ 追肥は生育に応じて速効性の肥料か液肥を用いる。

⑨ とさみずき（枝物）

【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
とさみずき	1年目		◆ ◎			◇								1,850
	2年目		◆											
	3～5年	×	◆											
	6年目以降	×	◆											

凡例：◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位：kg/10a

施肥時期	N	P2O5	K2O	施肥の留意点
基肥 2～6年(2月中旬)	11.2	11.2	11.2	2～6年目以降
追肥 1年(5月)	2.4	2.4	2.4	
合計	13.6	13.6	13.6	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植1ヶ月前までに施用する。
- イ ほ場の地力に応じた施肥を行うため、土壌診断により施用量を決定する。
- ウ 定植年の追肥は活着後、早めに行う。

⑩ ぼけ（枝物）

【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
ぼけ	苗さし木		◆								○			1,390
	露地										◎			
	3		◆											
	4		x											
	5		◆											
	6年目		x			x								

凡例: ○さし木 △摘心 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位: kg/10a

施肥時期		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
基肥	2年	5.4	2.7	2.7	・追肥は生育状況により調整する。
	3年	5.4	2.7	2.7	
	4年	10.8	5.4	5.4	
	5年	10.8	5.4	5.4	
	6年～	30.0	15.0	15.0	
合計		62.4	31.2	31.2	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体に施用する。

⑪ べにきりしまつつじ（枝物）

【栽培暦】

作物名	作型	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
べにきり まつじ	1年目		◆		◎	◇								1,500
	2年目		◆			◇								
	3年目		◆			◇								
	4年目		◆			◇								
	5年目		◆				◇			◇	◇			
	6年目	×	—	—	×									

凡例：◎定植 ×—×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位：kg/10a

施肥時期		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
基肥	1年	3.0	3.0	3.0	整地前に全面施用する
追肥	1年目追肥	2.0	2.0	2.0	
元肥・追肥	2年	5.0	5.0	5.0	元肥は2月に60%、追肥は5月に40%
元肥・追肥	3年	5.0	5.0	5.0	
元肥・追肥	4年	10.0	10.0	10.0	元肥は2月に60%、追肥は5月に40%
追肥	5年目6月	11.0	11.0	11.0	
追肥	5年目9月	6.0	6.0	6.0	
追肥	5年目10月	6.0	6.0	6.0	
合計		48.0	48.0	48.0	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として施用する。
- イ 追肥は、生育状況に応じて施肥する。

⑫ しのぶひば（枝物）

【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
しのぶひば	1年目			○	○		◇			◇				16,000
	2年目													
	3年目		◆	◎	◎									
	4年目													
	5年目										×	×	×	

凡例: ○さし木 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位: kg/10a

施肥時期	N	P2O5	K2O	施肥の留意点
基肥	13.2	13.2	13.2	3年目定植時に全面施用
追肥 1年目 6月	2.4	2.4	1.5	
追肥 1年目 9月	4.8	4.8	3.0	
追肥 2年目 9月	4.8	4.8	3.0	
合計	25.2	25.2	20.7	3年分合計の数値

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体として、定植半月前までに施用する。
- イ 1年次の追肥は発根したらなるべく早く施用する。

⑬ うめ（植木）

【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
うめ	1年目		接木	○	◇							△	△	2,469
	2年目		◎		◇								◆	
	3年目												◆	
	4年目										×			

凡例: ○さし木 △仮植 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位: kg/10a

施肥時期	N	P2O5	K2O	施肥の留意点	
基肥	2~3年目	10	8	8	2~3年目 ・追肥は生育に応じて施用する。
追肥	2~3年目	5	4	4	
合計		15	12	12	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体に施用する。
- イ 植え付け後2週間は施肥をしない。

⑭ うめ（鉢物）

【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (鉢/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
うめ	1年目			○	◇									16,000
	2年目				◇									
	3年目				◇									
	4年目				◇									
	5年目				◇									
	6年目			◇	◇	◇	◇					×	×	

凡例：○さし木 ○定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位：kg/10a

施肥時期	N	P ₂ O ₅	K ₂ O	施肥の留意点
基肥	0	0	0	4月下旬
1年目	6	7.2	6	
2年目	7.2	7.2	7.2	
3年目	13.3	13	11	
4年目	22	22	22	
5年目	1.8	2.4	1.8	
合計	50.3	51.8	48.0	追肥は、6号鉢に1つまみの油かすを与える。 6年分合計の数値

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。

2 施肥

- ア 植え付け後1週間は施肥を控える。
- イ 鉢上げ後は6号鉢に1つまみの油かすを3～6月の間に月1回を施す。

⑮ かいずかいぶき（植木）

【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
かいずかいぶき	3年目		◆				◇							2,350
	4年目		◆				◇							
	5年目		◆				◇							
	6年目													
				×										

凡例: ○さし木 △仮植 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位: kg/10a

施肥時期		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
基肥	5年目	18	8	9	・有機質肥料や緩効性肥料により施用する。
追肥	5年目	10	6	7	
合計		28	14	16	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病虫害の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料をまたは緩効性肥料を主体に施用する。
- イ ほ場の地力に応じた施肥を行うため、土壌診断により施用量を決定する。

⑩ つばき（植木）

【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
つばき	1年目			◆			◇	○						16,666
	2年目			◆	◎		◇							
	3年目			◆			◇							
	4年目			◆			◇							
	5～7年目				◆			◇						
								×			×			

凡例：○さし木 △仮植 ◎定植 ×—×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位：kg/10a

施肥時期		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
基肥	2～4年目	10	9	9	
追肥	2～4年目	5	4	4	
合計		15	13	13	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体に施用する。

⑰ おおむらさきつつじ（植木）

【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)		
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12			
おおむらさきつつじ	1年目					○	○			○	○					7,823
	2年目		◆		◎				◇							
	3年目		◆						◇							
	4年目		◆						◇							
	5年目		◆						◇							
	6年目		◆											×	×	1,955

凡例：○さし木 △仮植 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位：kg/10a

施肥時期	N	P2O5	K2O	施肥の留意点
基肥	6.4	6.4	6.4	・追肥は生育に応じて施用する。
追肥	10	6	6	
合計	16.4	12.4	12.4	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体に施用する。
- イ 土壌pHを5.5前後に維持する。pH5.5以上になると生育不良や葉が黄化するので注意する。
- ウ pHの高いほ場は植え付け前に硫黄華(100~200kg/10a)を施用するか、硫安等の生理的酸性肥料を施用する。

⑱ どうだんつつじ（植木）

【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
どうだん つつじ	3年目			◆	◎						◇				10,000
	4年目			◆							◇				
	5年目			◆							◇				
	6年目			◆											5,000

凡例：○さし木 △仮植 ◎定植 ×—×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位：kg/10a

施肥時期		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
基肥	3年目	7.2	7.2	7.2	
	5年目	10	8	8	
追肥	5～6年目	6	5	5	
合計		23.2	20.2	20.2	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体に施用する。

⑱ もみじ（植木）

【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
もみじ	露地		○	◆										△	3,000
	2年目			◎				◇							
	3年目			◆				◇							
	4年目			◆				◇							
	5年目			◆				◇							
	6年目			◆				◇							

凡例: ○接ぎ木(切接ぎ) = 無加温室管理 △仮植 ◎定植 ×-×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位: kg/10a

施肥時期		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
基肥	2年目	10	8	8	
	5年目	12	12	12	
追肥	5年目	6	4	4	
	6年目	5	5	5	
合計		33	29	29	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病虫害の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体に施用する。
- イ 植え付け後2週間は施肥を控える。

②0 いぬつげ（植木）

【栽培暦】

作物名	年次	栽培暦(月)												目標収量 (本/10a)	
		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
いぬつげ	2年目仮植			◆		△	△								6,000
	4年目定植			◆		◎				◇				◇	
	8年目整枝									◇				◇	1,955

凡例：○さし木 △仮植 ◎定植 ×－×収穫・出荷 ◆基肥 ◇追肥

【施肥基準】

単位：kg/10a

施肥時期		N	P2O5	K2O	施肥の留意点
基肥	2年目	6	4	4	有機入りペレット肥料(植木専用)
基肥	4年目	14	12	12	
追肥	2～4年目	20	18	18	・追肥は生育に応じて施用する。
合計		40	34	34	

【土壌・施肥管理】

1 土づくり

- ア 家畜ふん堆肥を施用する場合は、有効成分等を考慮して施用量を調整する。
- イ 未熟な堆肥の施用は、生育障害の原因となり、また過剰施用は病害虫の発生にもつながるので避ける。
- ウ 堆肥の施用は計画的に施用し、定植までの期間を充分確保することが望ましい。

2 施肥

- ア 基肥は、有機質肥料または緩効性肥料を主体に施用する。
- イ 定植後の施肥は、春肥(2～3月)60%、夏肥(8月)30%、冬肥(12月)10%に分けて施用する。
- ウ 12月の追肥は鶏ふん、有機質肥料を重点に施肥する。